

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 15010010

政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	19	消防・救急・防災体制の強化	事業優先度	B		
単位施策	3	消防・救急体制の充実	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	消防団活性化事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	15	消防支署	
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	消防団員数		関係例規・法令名	#N/A		
事業目標	110名		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
住民参加	無		関係個別計画名			
住民協働						

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	・団員教育訓練・福利厚生 ・新入団員被服整備 ・女性団員新基準被服整備	・団員教育訓練・福利厚生 ・新入団員被服購入 ・女性団員新基準被服購入	・団員教育訓練・福利厚生 ・新入団員被服購入	・団員教育訓練・福利厚生 ・新入団員被服購入	・団員教育訓練・福利厚生 ・新入団員被服購入	・団員教育訓練・福利厚生 ・新入団員被服購入	
	事業費(千円)	24,100	5,000	5,200	4,400	4,800	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0				
		道支出金	0				
		地方債	0				
その他		0					
一般財源	24,100	5,000	5,200	4,400	4,700		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	8,182	4,857	3,325	0	0	
	財 源 内 訳	国庫支出金	0				
		道支出金	0				
		地方債	0				
		その他	0				
一般財源	8,182	4,857	3,325				
特定財源の名称	【評価・実績】	(実施内容等) ・団員教育訓練・福利厚生 ・新入団員被服購入 ・女性団員新基準被服購入 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・団員教育訓練・福利厚生 ・新入団員被服購入 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果	
前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	103名	104名				
	年度達成率	97%	64%	0%	0%	0%	
第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	20%	34%	34%	34%	34%	
	事業進捗状況	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆				

事業名	消防団活性化事業	評価者	管理職 職氏名	支署長	安本 明志美
		評価者	作成者 職氏名	庶務係長	村田 康朗

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	団員(町民)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	消防団員の確保、訓練等による組織の活性化		
【抱える課題やニーズは】	若年層の新規入団を望んでいるが、地元での就職が減少しているため、入団対象者が少なく、消防団の魅力をアピールし、入団を促進することが課題である。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	消防団活動が活発になる。	①	消防団員数	目標年度	平成26年度
				目標値	104人
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	・消防団員数の確保(男性団員100名:女性団員10名) ・消防団員の技量向上	②	訓練回数	実績値	106人
				達成度	101.9%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	呼びかけ	消防団幹部から協力事業所等への呼びかけ			
	被服支給	新入団員に災害現場での活動に必要な被服等を支給			
	訓練費用	火災や風水害を想定した訓練時に出勤費を支給			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町民の生命財産を災害から守るため、各種訓練・研修を通じた団員の技術向上を目指す上においても必要とされ、また、団員の高齢化が進むなか、若年層の新規入団も必要と評価する。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	訓練の出勤率については、ほぼ達成され、団員数については目標値の104名を上回る106名に達成し、高齢団員3名の退団に伴い、若年者6名の入団、また女性団員については目標値を維持でき、全体の目標は達成されたと評価する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	研修の参加人員を抑え、若年層団員の訓練を増加したことにより、若年層団員の技術と精神面が向上し、その結果、災害現場での活動がスムーズとなり、活動時間の短縮につながったものと考え、また、団員確保に向けて町内の各企業に入団促進を呼び掛ける。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	全町民を対象とした事業のため、公平と評価する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
最終目標値である団員数を110名としているなか、平成26年度は、目標値の104名を上回る106名の団員を確保することができ、目標が達成されたと考え、この結果出勤率が向上したと評価する。		

今後の展開方向(Action)

<p>継続/現状維持</p> <p>町民の防災意識の高揚、雄武町としての防災体制の重要性を考え、今後も継続していく必要がある。</p>	
--	--

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止